

県民健康調査「健康診査」平成23～30年度実施状況

1 健康診査概要

(1) 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施している。

(2) 対象者

- 平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録していた方（対象地域を転出後も対象とする）
- 実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

(3) 健診項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

2 平成23～29年度の実施状況

(1) 実施方法等

年齢区分	居住地	実施方法	H29年度協力医療機関数	集計区分
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	県内市町村が実施する総合健診
		県内指定医療機関での個別健診	476施設	県内個別健診
		医大が実施する集団健診	県内29会場 (延べ49回実施)	県内集団健診
	県外	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	その他※2
		県外指定医療機関での個別健診	669施設（うち270施設は15歳以下も対応可能）	県外個別健診
		県外指定医療機関での小児健診	400施設（うち270施設は16歳以上も対応可能）	県外小児健診
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診	94施設	県内小児健診
	県外	県外指定医療機関での小児健診	400施設（うち270施設は16歳以上も対応可能）	県外小児健診

(2) 受診状況

ア 実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数

(ア) 16歳以上

平成29年度の受診率は20.5%で、平成28年度の20.9%と比較すると、0.4ポイント減少している。

(単位：人、%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日
対象者数	182,370	184,910	186,970	188,328	190,019	191,101	191,636
県内市町村が実施する総合健診	8,798	23,907	25,604	25,913	26,195	26,636	26,411
県内個別健診	—	6,692	5,806	4,927	4,443	3,941	3,782
県内集団健診	41,949	10,603	6,767	5,808	5,183	4,341	3,963
県外個別健診	3,815	3,055	3,205	3,418	3,332	2,118	2,102
その他 ※1、※2	2,045	3,206	2,017	1,846	2,113	3,011	3,154
上記のうち 重複受診者数	208	454	359	38	55	57	45
合計 (重複受診者数を除く)	56,399	47,009	43,040	41,874	41,211	39,990	39,367
受診率 (%)	30.9%	25.4%	23.0%	22.2%	21.7%	20.9%	20.5%

※1 その他（県内で実施（市町村が郡市医師会、医療機関へ委託したケース））

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託したケース））

(イ) 15歳以下

平成29年度の受診率は22.8%で、平成28年度の26.1%と比較すると、3.3ポイント減少している。

(単位：人、%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日
対象者数	27,819	27,077	26,474	25,883	25,296	24,600	23,660
県内小児健診	15,002	9,534	8,432	7,432	6,206	5,193	4,474
県外小児健診	2,949	2,283	1,822	1,792	1,403	1,226	929
上記のうち 重複受診者数	17	37	6	8	6	6	0
合計 (重複受診者数を除く)	17,934	11,780	10,248	9,216	7,603	6,413	5,403
受診率 (%)	64.5%	43.5%	38.7%	35.6%	30.1%	26.1%	22.8%

【参考】平成29年度 受診者の健診案内送付先別（県内・県外）受診者数*

(16歳以上)	県内	県外	合計	(15歳以下)	県内	県外	合計
	対象者数 (人)	161,841	29,795		191,636	対象者数 (人)	18,854
受診者数 (人)	35,634	3,733	39,367	受診者数 (人)	4,398	1,005	5,403
受診率	22.0%	12.5%	20.5%	受診率	23.3%	20.9%	22.8%

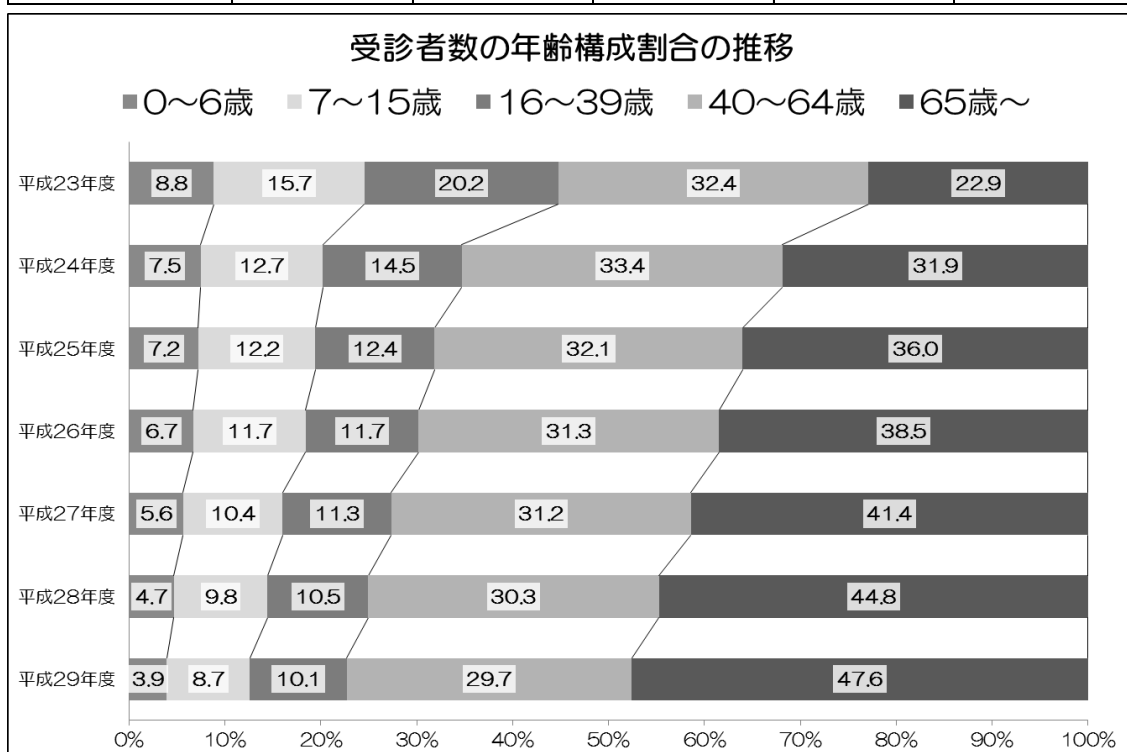
* 健診案内送付先の住所等を基に県外・県外を分けた。実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数とは異なる。

イ 年齢区別受診者数の推移

0～6歳、7～15歳、16～39歳、40～64歳の受診者数は年々減少し、65歳以上の受診者数は増加している。

(人)

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
平成23年度	6,462	11,481	14,762	23,651	16,726
平成24年度	4,365	7,437	8,480	19,553	18,642
平成25年度	3,802	6,429	6,536	16,922	18,969
平成26年度	3,328	5,840	5,843	15,594	19,166
平成27年度	2,655	4,903	5,354	14,748	19,559
平成28年度	2,057	4,315	4,632	13,386	19,768
平成29年度	1,647	3,712	4,309	12,677	20,299



(グラフ中の数字は四捨五入して示しているため合計で100%とはならない場合があります)

【参考】平成29年度 年齢区別受診率

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
対象者数(人)	7,419	16,241	57,066	68,587	65,983
受診者数(人)	1,647	3,712	4,309	12,677	20,299
受診率	22.2%	22.9%	7.6%	18.5%	30.8%

引用資料：平成23～26年度：第21回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
 平成27年度：第26回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」
 平成28年度：第30回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」
 受診者数：健診項目のうち1項目でも受診した方

3 平成30年度の実施状況【平成30年12月31日現在】

対象者：214,718人（15歳以下22,744人、16歳以上191,974人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町 川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村 受診者数 26,164人（速報値）									集団健診 1月12日より実施中		
	県外	県外指定医療機関での健診 受診者数 2,268人（速報値）									医療機関での 個別健診 1月4日より実施中		
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診 受診者数 3,648人（速報値）											
	県外	県外指定医療機関での小児健診 受診者数 899人（速報値）											

(1) 県内に居住している対象者

ア 16歳以上

昨年度と同様に伊達市を除く12市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せ（以下「上乗せ健診」という。）して同時に実施した。

また、上乗せ健診を受診出来なかった方等を対象とした集団健診や医療機関での個別健診を平成31年1月から実施した。（個別健診協力医療機関数471施設。）

イ 15歳以下

昨年度と同様に平成30年7月～12月までの約6ヶ月間で実施した。（協力医療機関数94施設。）

(2) 県外に居住している対象者

各都道府県で受診できるよう調整を行い、6月下旬より順次案内を発送し実施している。

(3) 健康診査受診結果の活用について

ア 対象市町村への情報還元

震災前後と震災後7年間の健康診査受診結果の推移について対象市町村ごとに「分析結果報告書」を作成し、各市町村に情報還元をしている。

また、受診結果や分析結果は、健康セミナーにおける医師等の講話にて対象市町村の住民へ報告をしている。

イ 健康セミナーの実施

住民が毎年度健康診査を受診する重要性について理解を深めるとともに、継続した健康診査の受診につながるよう支援することを目的に、対象市町村が実施する行事等において健康セミナーを実施している。

健康セミナーでは、対象市町村の住民に対し、医師等が受診結果や分析結果等を用いて健康講話を行ったり、専門職による個別相談、血圧・血糖測定等を実施したりしている。

実施時期	回数	実施内容・実施主体
5月	5会場	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による講話 ・専門職による個別相談 ・血圧測定 ・血糖測定（協力機関 一般社団法人福島県臨床検査技師会） ・こころ調査に関すること
7月	4会場	
9月	8会場	
10月	4会場	
11月	3会場	
12月	1会場	
1月	1会場	

ウ 住民への啓発活動

対象者へ集団・個別健診の案内に、健康診査の結果から分かったこと等をまとめたリーフレットを同封している。

平成30年度は、糖尿病の現状や疾患の特徴、また生活上注意する点等について具体例を挙げて紹介している。

(4) 受診率向上の取組み

ア 生活習慣病予防等のための取組み

ふくしま健民アプリを活用し、自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行っている。

イ 集団健診会場の確保

健康診査開始当初より対象者の多い地域に、集団健診会場を設置しているが、避難指示解除に伴い新たに会場を設置したり、対象者が少ない地域では、地域内で開催場所を変更したりするなど、対象者にとって利便性の良い会場の確保に努めている。

ウ 受診勧奨（リマインダー）の実施

健康診査受診の案内については、対象市町村の協力を得て広報誌に掲載したり、3（3）健康診査受診結果の活用を通じて、住民の方にきめ細かく周知できるよう広報活動を行っている。

また、期間の途中には、未受診の対象者に対し、受診勧奨（リマインダー）を行った。